

平成 11 年 4 月 8 日

## ケアハウスを備える、区内最大の福祉施設

### 「菊かおる園」完成

このほど、おばあちゃんの原宿「巣鴨」に、区内最大となる高齢者のための福祉施設「**菊かおる園**」が完成し、8日(木)、関係者を集め開所式が行われた(施設オープンは5月1日)。

この施設は、**特別養護老人ホーム、高齢者在宅サービスセンター、ケアハウス**の3施設で構成され、区内では最も大きな福祉施設である。日常生活全般にわたり介護が必要な高齢者の方や、在宅の痴呆性高齢者の方などのために必要な機能設備を備え、様々な事業を通じてサービスの提供を行う。また、設計にあたっては、可能な限り利用定員を多くするとともに、地域交流スペースや建物の周囲に憩いの空間を確保したほか、隣接の幼稚園・児童館との調和にも配慮している。

「菊かおる園」の名称は、この地域に、古くは植木職人が多く住み、菊の栽培が盛んだったこと、施設建設地一帯に「明治女学校」(明治41年廃校)という学園が設置されていたことに因んだもの。

開所式は午後1時より、豊島区長、区議会議長、地元町会長をはじめ、関係者約90人が出席して行われた。加藤一敏豊島区長は、「豊島区では、21世紀の都市像を“暮らし豊かに ところ輝く都市”として、区民連帯のもとに老いも若きも共感できる地域社会の実現を目指しております。本施設は、これからの豊島区の地域福祉推進の拠点として大きな役割を果たしていくことと思います。」と、新しい施設への期待を語った。

開所式終了後は、関係者及び区民が参加して施設見学会が行なわれた。また、区長、区議会議長、その他出席者による菊苗の定植も行われた。

#### 【特別養護老人ホーム】

原則として65歳以上で、心身に障害を持ち、日常生活全般にわたり常に介護を必要とし、家庭でも介護を受けることが困難な方が入所する施設。入所定員90名。

#### 【高齢者在宅サービスセンター】

在宅の痴ほうや虚弱な方等に対して、施設通所による日中レクリエーション・生活訓練・趣味活動を提供することによって、本人の社会的孤立感の解消、心身機能の向上を図るとともに、あわせて家族の介護負担の軽減を図る施設。

デイホーム（1日定員15名）・痴呆性デイホーム（1日定員10名）、機能回復訓練（1日定員10名）、入浴サービス（1日定員6名）、配食サービス（1日定員20名）、ショートステイ（ねたきりなどの高齢者を介護している家族の方が、一時的に介護ができない場合に、おおむね一週間施設で介護する。1日定員10名）の各サービスを行う。

### 【ケアハウス】

60歳以上で、身体機能の低下や高齢等のため自立して生活することに不安を持っている方に、安心して自立した生活を送っていただくよう配慮された居住施設。食事の提供と入浴の準備を行う。定員30名（1人用26室、2人用2室）。

### <施設概要>

所在地 西巢鴨二丁目30番19号（都営三田線西巢鴨駅徒歩15分、都電荒川線庚申塚駅徒歩3分）

構造・規模 鉄骨造・一部鉄筋コンクリート造、地上4階地下1階

敷地面積 4,830.00㎡

延べ床面積 7,304.09㎡

\*

\*

今年1月現在、豊島区の高齢者（65歳以上）は41,000人を超え、区民の約6人に1人が65歳以上という、まさに超高齢社会となっている。また、深刻化する高齢者介護の問題に対応するため、平成12年4月からは、全国で介護保険制度がスタートする。こうした中、豊島区では「高齢者保健福祉計画」に基づき、これまで各種の在宅福祉施策の充実とともに、介護の基盤となる施設整備についても積極的に取り組んできた。

本施設の完成により、区立の特別養護老人ホームは4ヶ所目だが、民間法人の施設とあわせると、区内には6ヶ所の特別養護老人ホームの整備となり、ベッド数では400人分の確保となる。また、高齢者在宅サービスセンターは、11ヶ所目となるが、さらに本年7月に開設予定の上池袋豊寿園を加えると、区内12ヶ所の整備となる。

**問合せ 高齢者福祉課施設管理係**